

みんなのまちづくり計画

～ひと・まち・やまをつなぐ～





みなさんが考える、未来の京都の「みち」について自由に書いてください。



「みち」は、京都のまちの文化や歴史が培われた“まち柄”を反映する“京都の顔”です。

「みち」は、「かわ」や「はし」、「みどり」とともに、京都の文化的な営みに不可欠な基盤であり、「みち」自体が京都の「文化」そのものであると言えます。

この計画では、本市の若手職員を中心に50年後、100年後の京都と、誰もが幸せを感じる京都の「みちづくり」のあり方を、以下の4つの考え方にまとめました。

- 「くらす（住みやすいまち）」
- 「ひらく（災害に対するしなやかさ）」
- 「きわめる（まちの賑わい）」
- 「つなぐ（人やもの、地域とのつながり）」

「みち」は、これからも、京都の「まち」、「ひと」、「文化」を支えていきます。

くらす

住みやすいまち

- ・楽しく“まち歩き”できる「みち」
- ・誰にでも“やさしい”「みち」
- ・人も自転車も車も“移動しやすい”「みち」

「みち」は、人々が時にたちどまり、混ざりあう舞台であり、「門掃き」や「打ち水」などの京都の文化的な営みを育んできました。

「みち」は、人々の日々の暮らしが営まれる「ケ（日常）」の場として、「ハレの日（非日常）」においては、祇園祭の山鉾巡行や地蔵盆の舞台へと姿を変えます。

子どもたちが歌う通り名のわらべ歌が物語るように、京都の「みち」は「まち」や「ひと」と深い絆で結ばれており、京都の人々の暮らしの中に息づいてきました。



ひらく

災害に対するしなやかさ

- ・命をつなぐ「みち」
- ・安全・安心に避難することができる「みち」
- ・孤立させない「みち」

わたしたちは、千年以上の歴史の中で、幾度もの戦乱や大火等の危機を克服し立ち直ってきましたが、「みち」はどんな時も、「まち」と「ひと」をつなぎ、先人たちの不屈の精神と文化力、「まち」の立て直しを支えてきました。



きわめる

まちの賑わい

- ・賑わいを創出する「みち」
- ・地域の魅力を引き出す「みち」
- ・産業を発展させる「みち」

京都に都が移された1200年前、碁盤の目状につくられた朱雀大路を中心とした大路小路によって、美しく整えられた「まち」が誕生しました。

やがて、一条、二条等の大路が家名として定着し、小路に集まった職人たちが「まち」の個性を生み出し、路地は人々の交流を育んできました。

「みち」は「まち」を変え、「まち」の個性を創ってきました。



人やもの、地域とのつながり

- ・地域と地域をつなぐ「みち」
- ・駅などの交通拠点と人の暮らしをつなぐ「みち」
- ・住んでいる人も、訪れる人も快適に周遊できる「みち」

つなぐ

時が経つのを忘れて歩いてしまう路地、文人墨客が思索にふけた哲学の「みち」、多くの人が行き交い、憩う鴨川沿いの「みち」は、いつの時代もわたしたちに安らぎと文化的な時間を与えてくれます。

「みち」は、モノを運ぶだけでなく、時間をも超えて人や地域の絆をつなぎ、そして未来へと紡いでいきます。



整備を進める 「みち」

都市計画道路や山間部等の道路のうち、今後10年以内に新設や拡幅する「みち」を、「みちづくり」の4つの考え方に加えて、賑わい創出効果、道路機能、事業の実現性、早期の効果実感を考慮して選定しました。

選定に当たっては、京都の地形的特性を踏まえて、「まちのみち」と「やまのみち」に分けて考えています。

「みちづくり」を進める際には、地域の皆様の御支援や御協力が必要不可欠であり、地域とのコンセンサスを形成しながら取り組んでいきます。

都市計画道路の整備により、まちの賑わいを創出し、生活環境の向上、移住・定住を促進するなど、「みち」の整備により、「まち」を変え、都市の魅力向上を図ります。

やまのみち

山間部等において、地域と地域、地域と市街地を結ぶ「みち」の整備により、住んでいる方だけでなく訪れる方のウェルビーイングの向上を図ります。

また、大規模な道路整備の他に待機スペースの確保やカーブにおける見通しの改善等、道路を部分的に改良する「山間地域部分改良」を本計画に位置付けました。地域の特色に応じた「まちづくり」に寄与する「やまのみち」について、地域のみなさまとともに議論しながら、整備に向けて取り組んでいきます。

「みち」の一覧

	路線名	行政区	継続路線	新規路線
1	京都広河原美山線（鞍馬北）	左京区	○	—
2	鴨川東岸線（第三工区）	東山区	○	—
3	向日町上鳥羽線	南区	○	—
4	葛野西通（七条通）	右京区	○	—
5	国道162号 川東（第二工区）	右京区	○	—
6	国道162号 高雄改良	右京区	○	—
7	山陰街道	西京区	○	—
8	中山石見線	西京区	○	—
9	大津宇治線	伏見区	○	—
10	羽東師橋関連道路	伏見区	○	—
11	御陵六地藏線（第三工区）	伏見区	○	—
12	小栗栖石田線	伏見区	○	—
13	御陵六地藏線（国道1号～新十条通）	山科区	—	○
14	牛ヶ瀬馬場線	南区	—	○
15	山間地域部分改良	—	—	○



誰もが幸せを感じる未来の京都を、わたしたちの「みち」が創出することを信じて、「みんなのみちづくり計画（みんなみち）」を着実に進めていきます。

